

2018年9月18日

各位

一般社団法人 日本精神薬学会

2018年(平成30年)度 「精神薬学会認定薬剤師」認定試験の実施について

平素より、日本精神薬学会の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、当会では「精神薬学会認定薬剤師」の認定を目的とした認定試験を下記の日程で実施いたします。本認定試験に合格し、他の要件が整った場合は、今年度または次年度の認定申請が可能となります。

受験をご希望される方は申込書(ワードファイル)に必要事項をご記入の上、2018年10月22日(月)までに、申込書をメール添付にてお申し込み下さい。お申し込みされた方には、事務局より手続きについてご連絡させていただきます。

記

- 日時 : 2018年11月11日(日) 10時~12時
場所 : 帝京大学薬学部 302 教室 (東京都板橋区加賀2-11-1)
出題基準 : 別添のとおり
受験料 : 10,800円(10,000円+税)

<問い合わせ先>

一般社団法人 日本精神薬学会 事務局
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-5 茅場町2丁目ビル8階
株式会社ネオファルマ内
TEL 03-5643-0112
E-mail contact@js-pp.or.jp

<添付資料>

- 2018年度「精神薬学会認定薬剤師」認定試験 出題基準
2018年度「精神薬学会認定薬剤師」認定試験 例題

2018年度「精神薬学会認定薬剤師」認定試験 出題基準

I 精神疾患の病態，診断，治療について理解している。

- 統合失調症
- うつ病
- 双極性障害
- 不安障害
- 睡眠障害
- 認知症
- 物質依存症
- 発達障害

II 向精神薬の基礎薬理・臨床薬理，副作用及び体内動態等について理解している。

- 抗精神病薬
- 抗うつ薬
- 気分安定薬
- 抗不安薬
- 睡眠薬
- 認知症治療薬
- 依存症治療薬
- 精神刺激薬
- 抗パーキンソン病薬

III 心理教育と評価尺度について理解している。

- 医療現場でのコミュニケーション
- 心理教育
- 精神科領域の症状評価尺度

IV チーム医療と地域連携について理解している。

V 精神医療にかかわる法律を理解している。

- 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）
- 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
- 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律
- その他の精神保健福祉にかかわる法律・制度

VI 妊婦・授乳婦と向精神薬について理解している。

- 精神疾患患者の妊娠・出産
- 妊娠・授乳期の薬物療法の特徴と服薬カウンセリング

<参考資料>

精神科薬物療法マニュアル（南山堂）

添付文書

各種ガイドライン 等

2018 年度「精神薬学会認定薬剤師」認定試験 例題

問題 1. 認知症治療薬に関する記述について、正しいのはどれか。1 つ選べ。

1. ドネペジルは、アセチルコリンエステラーゼ (AChE) を非可逆的に阻害する。
2. メマンチンは、AChE とブチリルコリンエステラーゼ (BuChE) の両方を阻害する。
3. リバスチグミンは、*N*-メチル-D-アスパラギン酸 (NMDA) 受容体阻害薬である。
4. ガランタミンは、AChE 阻害作用と、ニコチン性アセチルコリン受容体賦活作用がある。
5. メマンチンの保険適応は、軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制である。

問題 2. うつ病に関する記述について、誤っているのはどれか。2 つ選べ。

1. 日本におけるうつ病患者数は、男性よりも女性が多い。
2. 日本では、高齢になるほどうつ病患者数が増える傾向がある。
3. おもな症状として不眠があるが、過眠となるケースもある。
4. 朝に調子が悪く、夕方に回復するというパターンを取ることがある。
5. 軽症であっても、抗うつ薬による薬物治療が第一選択となる。